【米田主宰の俳句】

ひらいてとじて

米田規子

もくれんの冬芽ふくらみ逢えぬ日々

トッカータとフーガ突き抜けて冬天

泥葱の束を抱えて風の道

ハッピーバースデイ冬の檸檬灯る

大声で笑うことなく雑煮椀

家中の音の華やぎ初荷かな

冬ざれや二人のベンチ探しいて

クレソンに水音やさし野辺の風

待春のひらいてとじて足の指

読みかけの本とコーヒー春の雪